

江風会では、毎年「その年に卒業20年目を迎えられる」同窓生に、「卒業はたち（二十歳）の同窓会」を開く事を提案することを決めました。
以下はその提案分です。

「卒業はたち(二十歳)の同窓会」を開きませんか？

我が母校、川高を巣立って、20年を迎えられる皆さん
人生の折り返しを、迎えられるこの時に
旧交を深め、今青春のあの頃に、フィードバックしませんか

江風会役員会では、同窓会活動を活性化させるために
何ができるかを話し合ってきました。
自分たちのつたない経験からではありますが、
卒業20年経った頃を開いた「同窓会」の持つ意味が大きかったように思います。
必死で働いた仕事にも少し余裕が出来た頃、
子育てもひと段落した頃を開いた同窓会、
懐かしい友人たちとの再会と連帯感に感動しました。

その体験をもとに、江風会は提案したいと思います。
「卒業はたち（二十歳）の同窓会」を開きませんか？

もちろん、開催の主体はその年に卒業20年目を迎えられる同期生です。
江風会は、そのお手伝いをさせていただきたいと思っています。

来年、卒業20年を迎えられるのは「36期生（平成5年卒業）」です。
36期生の皆さま、ぜひ「卒業はたち（二十歳）の同窓会」を開催しましょう。